

3. 教育目標および努力目標

3-1. 令和8年度 学校教育目標・方針等

1 〈学校教育目標〉

- (1) 社会的・職業的自立に必要な知識、技術及び技能を習得させ、地域社会や産業界に貢献できる人材を育成する。
- (2) 豊かな人間性と社会性を育み、自律性・協調性・創造性に富む人材を育成する。
- (3) 勤労と責任を重んじ、心身ともに健康でたくましい体力と実践力を持った人材を育成する。

2 〈学校教育方針〉

(1) 目指す学校像

① 生徒が「安心して、楽しく学べる学校」

学校の主役である生徒にとって、毎日の学校生活が楽しく、居場所のある学校生活が送れるように教育活動の質の充実に努める。

② 教職員が「充実感とやりがいのある学校」

すべての教職員が、「チーム浦工」として協働体制で充実した校務を推進し、自ら学ぶ意欲を育てやりがいのある学校環境づくりに努める。

③ 保護者・地域から「信頼される学校」

保護者や関係機関と連携を強化するとともに、地域貢献活動を推進し、信頼される学校づくりに努める。

(2) 目指す生徒像

① 当たり前のことが当たり前でできる生徒(凡事徹底)

② 自らの考えで判断、行動し、資格取得等に積極的に取り組む生徒(自主)

③ 認め合い、励まし合い、お互い支え合いながら切磋琢磨できる生徒(協調)

④ 自らの可能性を信じ、創意工夫と最後までやり遂げる強い意志を持った生徒(創造)

3 〈学校経営目標〉

「地域・産業・未来とつながり、社会で生きる力を備えた実践的技術者・職業人を育成する学校」の実現を本校経営の目標とする。そのために、次の三点を学校経営目標の柱として学校経営を推進する。

(1) 生徒一人一人が主体的に学び、成長を実感できる学校づくり

(2) 地域・産業界から信頼され、連携する学校づくり

(3) 教職員が専門性と協働性を発揮し、挑戦し続ける組織づくり

4 〈学校経営方針〉

(1) 生徒の主体性を育む学びの改革

① 専科の実習・課題研究を核に、課題解決型・探究型の学習を推進し、知識の習得にとどまらない「使える力」を育成する。

② 生徒が自ら考え、対話し、協働する授業改善を全校で進め、主体的・対話的で深い学びを定着させる。

③ 普通教科と専門教科の連携を促進し、教科横断的な視点から思考力・表現力を高める。

(2) ICT・新技術を生かした専門教育の推進

- ① 1人1台端末やデジタル教材を積極的に活用し、専門分野におけるデジタル技能を育成する。
- ② DXの視点を教育に取り入れ、社会や産業の変化に対応できる学びの環境を整える。
- ③ ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの両立を図る。

(3) 社会とつながるキャリア教育の充実

- ① 3年間を見通した計画的なキャリア教育を通して、自らの進路を主体的に選択する力を育成する。
- ② 地域企業、大学、専門学校等との連携を強化し、インターンシップ(デュアルシステム)、外部講師による授業、現場体験を充実させる。
- ③ 資格取得や専門技能の習得を支援し、進学・就職の双方に対応できる進路指導を行う。

(4) 地域に開かれ、信頼される学校づくり

- ① 県内の産業界と連携し、地域課題解決に取り組む学習活動を推進する。
- ② 生徒の学びや成果を積極的に発信し、地域に貢献する専門高校としての役割を果たす。
- ③ 保護者・地域との連携を深め、学校教育への理解と協力を得る。

(5) 安心・安全で挑戦できる学校環境の確立

- ① 規範意識と基本的生活習慣の定着を図り、落ち着いた教育環境を維持する。
- ② 教育相談体制を充実させ、いじめや不登校等の未然防止・早期対応に組織的に取り組む。
- ③ 生徒が失敗を恐れず挑戦できる、温かく支え合う校風を育てる。

(6) 教職員が力を発揮する組織づくり

- ① 校内研修を通して教職員の専門性と授業力の向上を図る。
- ② 学年・分掌・教科を超えた協働を促進し、チームとして生徒を支える体制を確立する。
- ③ 働き方改革を進め、持続可能で質の高い教育活動を実現する。

5 〈学校経営目標に対する課題〉

【学校経営目標(1)】

- (1) キャリア教育の充実と就職・進学成果の向上
- (2) 授業及び行事等における魅力ある学習活動の展開と学力の向上
- (3) 専門性の資格・検定取得等の向上
- (4) 学校の長所や地域の特徴を生かした母校愛の醸成
- (5) 生徒たちが生き生きと主体的に活動できる特別活動の充実

【学校経営目標(2)】

- (1) 学校管理下での事故防止指導の徹底
- (2) 地域と連携した教育活動の推進
- (3) 保護者と連携した指導支援の充実
- (4) 不祥事の未然防止・服務規律の徹底

【学校経営目標(3)】

- (1) 生徒理解に基づくインクルーシブ教育の推進
- (2) 迅速かつ丁寧で粘り強い生徒指導の実施

- (3) 生徒が安心して過ごすための教育相談の実施
- (4) 保健指導・健康教育の充実
- (5) 教職員の専門性向上
- (6) 各部・各科の連携構築と着実な目標の達成
- (7) 入学定員確保に向けた広報活動の充実
- (8) 職員間相互の連携協力体制の構築
- (9) 学校における働き方改革の着実な実施
- (10) 互いに創意工夫を発揮し課題解決に取り組むことができる環境整備

6 課題解決のための本年度の重点取組事項 ～ さらに誇りに思う学校づくりを目指して ～

(1) チーム学校体制の確立

- ① 教職員及び専門スタッフの連携・協働により、学校課題の解決を図る
- ② 学校における働き方改革の取組の充実
- ③ 教育相談・就学支援員配置事業を着実に遂行し、生徒の就学支援の充実を図る
- ④ 教職員の心身の健康保持に向けた取組の充実

(2) 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実

- ① 凡事徹底の日の設定により、道徳的な心情や判断力、実践意欲と態度などを育成
- ② 人権の日の設定による生徒・教職員の人権への意識の向上
- ③ 家庭・外部機関等と連携した学校保健の充実
- ④ 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育及び性に関する指導の充実

(3) キャリア教育・進路指導の充実強化

- ① 進路指導部、学科及び学年会の連携による進路決定率の向上
- ② 高校3年間を見通した各学年及び各学科の計画的な進路指導の実施
- ③ 地域の関連企業と連携し、望ましい職業観・勤労観の育成
- ④ 各学科における進路指導の充実と各種資格・検定取得に向けた取組強化

(4) 特別支援教育体制の充実

- ① 学年会の機能強化を図り、生徒の特性や課題等を早期に把握し全職員で共有する。
- ② 外部機関及び保護者との連携強化を図る。
- ③ 個別の指導計画等に基づく組織的・計画的な生徒支援の推進

(5) 教育活動の改善と活性化・授業改善の推進

- ① 生徒の育成を目指す資質・能力の明確化
- ② 「学び直し」を含め、「わかりやすい授業」を実践し、基礎・基本を定着させる
- ③ 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、特に協働学習の推進を図る
- ④ 学習評価の工夫・改善及び指導と評価の一体化を推進するとともに、「高校生のための学びの基礎診断」等の各種資料の活用
- ⑤ 教員相互の授業観察を活性化など授業改善の機運向上

(6) 健康教育・学校安全及び教育環境整備の推進

- ① 生徒の心身の健康の保持増進を図るため、学校保健活動の充実
- ② 実習・部活等における安全管理・安全教育の徹底
- ③ 教職員の危機管理意識の高揚及び生徒の危険回避能力の育成
- ④ 日々の清掃活動の徹底及びPTA等と連携した計画的な環境整備作業の実施
- ⑤ 5S「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」活動の推進により、学習環境整備・業務環境整備の意識高揚の推進

(7) 生徒指導・教育相談の充実強化

- ① 基本的生活習慣の確立
- ② 「5つの心」の実践に努め、規範意識の醸成
「5つの心」
一つ、「おはようございます」という明るい心
二つ、「はい」という素直な心
三つ、「すみません」という反省の心
四つ、「おかげさまで」という謙虚な心
五つ、「ありがとうございます」という感謝の心
- ③ 交通安全教育の徹底と交通安全意識の高揚
- ④ いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けた体制充実

(8) 特別活動等の充実強化

- ① ホームルーム活動、生徒会活動、部活動を通じた自主性・協調性等・自尊感情・自己有用感等の育成
- ② 学校行事を通じた公共の精神と社会性の育成

(9) 学校広報活動の充実

- ① 中学校・地域等への広報活動(母校へ生徒実績パンフレット配布・母校に恩返し等)を強化し、入学者の定員確保に努める
- ② 地域と連携した教育活動を推進し、各学科の魅力を地域に積極的に伝える
- ③ 生徒・保護者・地域への学校情報の迅速な提供
- ④ 「魅力ある学校づくり」目指して工夫改善を図るとともに職員間の意識の高揚を図る

(10) 地域から信頼される学校づくりの推進

- ① 不祥事防止・服務規律の徹底
- ② 教職員の資質・指導力・専門性向上、研究・研修活動の充実(学ぶ時間の確保・教育 DX 等)
- ③ 各部・各科の所掌事務の着実な遂行
- ④ 地域・PTAとの連携強化と地域貢献のための各種行事の企画・開催
- ⑤ 事務処理の効率化・円滑化・適正化による校務改善に努める